

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	太地町立太地中学校	山田 貴也
学校所在地		
〒 649 - 5171 東牟婁郡太地町太地 1 1 4 - 2 tel 0735 ( 59 ) 2008 fax 0735 ( 59 ) 6010		
担当者名		役職名・担当教科
上久保 弘子		・教頭
〔学校の概要〕		
<p>太地町は、紀伊半島の南端部に位置する。黒潮の影響を受けて四季を通じて温暖で、背後には緑豊かな山々がせまり、海岸部は「吉野熊野国立公園」の特別地域の指定を受けるとい「太陽と自然」に恵まれた町である。</p> <p>人口約2900人の小さな町で、古式捕鯨発祥の地として知られ、鯨に関わる仕事を中心に栄えてきた歴史がある。しかし、沿岸・近海漁業の衰退や商業捕鯨禁止の影響で漁業従事者の数は減少し、近年では、「くじら博物館」を中心に「鯨」をテーマとした観光の町として知られている。</p> <p>教育環境は、子ども園、小学校、中学校が各1校ずつという特殊な状況にある。この環境を生かし、PTA 活動は小中1つの組織として運営されており、教職員の研究組織である「町教育研究会」も、子ども園、小、中が一体となって組織されている。生徒数は減少し、本年度は全校で32名。学年の枠を超えて仲がよく、どの学級も落ち着いた雰囲気の中学習が進められている。</p> <p>町は、学校給食を早くから小・中学校に導入するなど学校教育に力を入れ、姉妹都市の学校間の交流も推進している。小学校は、昭和61年から長野県白馬北小学校との交流を継続しており、中学校は、平成20年度から、太地町民が移住した歴史を持つオーストラリアのブルーム市内の中学校(セント・メアリー校)との交流を始めている。</p> <p>保護者や地域の方々の教育に対する関心は高く、児童生徒の育成面で、協力を得やすい状況にある。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
学年 1・2年生 21名	1名 職員 8名	教室・世界遺産センター・熊野古道
実践研究テーマ		
世界遺産について学ぼう		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	郷土の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」	
〔キーワード〕		
ふるさと学習 世界遺産学習		
〔単元目標〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産であり、身近にある「熊野古道」を学ぶことで、郷土を愛する心を育てるとともに郷土についての知識を深める。</li> <li>・世界遺産についての学習を通し、かけがえのない世界の宝を守り、後世へとつないでいこうとする意欲を育てる。</li> <li>・実際に現地を歩くことによって、歴史を体感するとともに、遺産を守るためにいろいろな活動が行われていることを知る。</li> </ul>		
〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕		
全体 5時間 (「日本の世界遺産・世界遺産の種類・現地学習・まとめ」 5時間)		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産センターの職員から「世界遺産入門」の講座を受けた。</li> <li>・世界遺産マスターの方々にガイドをしていただきながら現地学習を行った。</li> </ul>		

## 実践に関する事項

### 〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習(本校) 「日本の世界遺産」	ホームページや資料を使って日本にある世界遺産についての知識を深めた。	ふりかえりシート
2	事前学習(本校) 「世界遺産の種類」	ホームページや資料を使って、世界遺産の種類(文化遺産、自然遺産、複合遺産)について学んだ。	ふりかえりシート
3	世界遺産講座(世界遺産センター)	世界遺産センターの職員から、世界遺産の歴史や種類、維持するための活動等について説明を受けた。	観察
4	現地学習	世界遺産マスターの方にガイドしていただきながら、現地を歩いた。	観察
5	ふりかえり(本校)	現地学習の後日、学んだことや感想を書かせて、ふりかえりを行った。	ふりかえりシート

### 〔単元学習の成果と課題〕

#### ○成果

本校は捕鯨で有名な太地町の生徒であり、ふるさとに対して誇りと愛着を抱いている。今回の世界遺産学習「紀伊山地の霊場と参詣道」は南紀に位置し、ある意味地元である。世界遺産について学ぶことにより、太地町だけでなく当地方を愛する心がいっそう強まるとともに、その文化を伝えたい、守りたいという意欲も育った。また、他の世界遺産を知ることで「将来行ってみたいな」という好奇心も芽生えた。

#### ○課題

今回は修学旅行の関係で3年生が参加できなかった。全校生徒で取り組みができなかったのは残念である。文化祭や学習発表会等で、この学習を3年生や地域の人たちに紹介できたらいいと思う。

### 〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産について知っているようで知らない現状の中、今回の学習を通して、ただ地域の訪問だけでなく、計画的に事前学習を行ったので、現地での講座や、古道ウォークがより効果的なものになった。事前学習により、現地での学習を楽しみに待つ生徒もいたので本当に良かった。この学習をきっかけに、郷土を愛し、その文化を継承していこうとする人材を育成していきたい。

### 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産学習についてはふるさと学習の一環で取り組んでいる。「那智山での熊野古道体験と土砂災害啓発センター訪問」、「南紀熊野ジオパークセンター」、「紀伊山地の霊場と参詣道」の3つを1年ごとにローテーションしている。どの学習においても事前学習を行い、当日の現地訪問や講座にスムーズに参加できるようにしている。今後、さらに学習を深めるために事前学習の時間を増やし知りたいことや質問したいことをまとめるなどして、当日の学習をいっそう効果的なものにしていきたい。また、学習したことを発表する場を設けていきたい。

## 様式 2

令和3年度 次世代育成事業における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### ○生徒の感想から

- ・世界遺産に登録されるまでに、たくさんのお金や時間が必要だということを知らなかった。そして、登録されてからも多くの人の努力のおかげで景観などが守られていると聞いて、とてもすごいことだと思ったし、ありがたいなと思った。
- ・京都から天皇や上皇が歩いて熊野三山に参拝に来たという話がとても印象に残った。
- ・今まであまり知らなかった世界遺産について学べて良かった。講義で学んだことを思い出しながら歩いて行くと、とても楽しめました。
- ・世界遺産の考え方が生まれるきっかけや日本にある世界遺産の数など知らなかったことをたくさん知ることができた。また、「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的景観を守り続けるために1人1人がルールを守る等の行動を心がけることが大切だと知ることができたのが良かったです。
- ・熊野古道を毎年、しかも和歌山県外の人でも道普請に協力しているのを知って驚いた。また、文化遺産の成り立ちなども知れてとても勉強になった。
- ・世界遺産マスターさんの説明がとても分かりやすく、また次回歩きたいと思います。

### 活動の様子

